

第96回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成17年10月7日(金)13:30～16:30

場所：JR東海品川ビルA棟 中会議室3

出席者：委員長 小豆澤（神戸大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 伊藤（日立製作所）、岩松（鉄道総研）、海老原（五島育英会）、坂本（九州工業大、代理小川）、村本（東洋電機製造）、増澤（茨城大、代理柿原）、矢野（産総研）

幹事 村井（JR東海）

幹事補佐 真田（大阪府立大）、鳥居（武蔵工業大）

提出資料

- 96-1 第95回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 96-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 96-3 平成17年度第2回D部門研究調査運営委員会(9/30開催)報告（小豆澤委員長）
- 96-4 平成17・18年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 96-5 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 96-6 LDIA2005開催状況（中間報告）（小豆澤委員長）
- 96-7 リニアドライブ研究会のご案内（矢野委員）
- 96-8 超電導応用電力機器・リニアドライブ合同研究会（北野副委員長）
- 96-9 産業応用フォーラム「多次元ドライブシステムの可能性を探る」（矢野委員）
- 96-10 MAGLEV'2006（北野副委員長）
- 96-11 平成18年電気学会全国大会シンポジウム(案)提案用紙（矢野委員）
- 96-12 多自由度モータとその要素技術調査専門委員会解散報告書(案)（矢野委員）
- 96-13 多自由度モータのブレイクスルー技術調査専門委員会(仮)設置趣意書(案)（矢野委員）
- 96-14 第18回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム計画趣意書（小豆澤委員長）
- 96-15 医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会（ECD）活動報告（増澤委員）
- 96-16 多自由度モータとその要素技術調査専門委員会（MDD）活動報告（矢野委員）
- 96-17 産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会（MEL）活動報告（鳥居幹事補佐）
- 96-18 磁気支持応用機器の高機能化協同研究委員会（MLV）活動報告（村井幹事）
- 96-19 第1回医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会議事録（増澤委員）
- 96-20 第2回医用アクチュエーション技術に関する協同研究委員会議事録（増澤委員）
- 96-21 第7回多自由度モータとその要素技術調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 96-22 第8回多自由度モータとその要素技術調査専門委員会議事録（矢野委員）
- 96-23 第2回産業用リニア電磁駆動システムの要素技術調査専門委員会議事録（鳥居幹事補佐）
- 96-24 委員会構成員変更届（鳥居幹事補佐）

議事

1 議事録確認

資料96-1を用いて議事録の確認を行い、5「うち著者は108件である」を「うち108件は著者である」に訂正ののち、承認された。シンポジウムの担当委員会リストについては幹事グループから問い合わせることとした。

2. 報告事項

- 2.1 資料96-2を用いて、委員会名簿の確認と、新委員の自己紹介が行われた。関連して、刈田委員から退会希望が出ていることが紹介されたが、貴重な委員であるため出席状況に関わらず是非残っていただくことを全員一致で合意した。
- 2.2 資料96-3を用いて、小豆澤委員長より、D部門運営委の報告があった。技術委員会・調査専門委員会構成員の会員比率のチェックが行われたことが報告され、その資料が回覧された。また、研究会資料予約購読者、発表数のチェックについても資料が回覧された。委員会設置及び解散書類は遅滞なく提出すること、及び取りまとめ中の技術報告書の進捗状況についての確認が行われた。また、

関連して、本技委の活動報告と活動計画についての紹介と確認が行われた。見学会の候補地の提案依頼があった。産業応用フォーラムの活性化について議論が行われ、リニアドライブでも是非推進してほしいとの依頼があった。また、安全工学シンポジウムの企画運営委に、LD 技委より村本委員を選出した。H18 年全国大会シンポジウムについては、MDD からのものを含め 5 件が承認されたことが紹介された。D 部門誌の LD 関連特集号について、LD 研究会からの推薦を含めて検討することとした。

- 2.3 資料 96-4 を用いて、平成 17・18 年度各委員会の予定を確認し、以下の修正があった。
- (1) LD 研究会：1 月の開催予定を 1/23,24 東京とする。
 - (2) ECD 委：11 月の開催予定は 11/17 または 11/18。12/12 の開催予定を追加。
 - (3) MDD 委：12 月の開催予定を 12/19 に変更。
 - (4) 関連会合に 12/9 産業応用フォーラムを追加。
 - (5) 関連会合に 5/15-19 ICRA(Orland, FL USA)を追加。
- 2.4 資料 96-5 を用いて、真田幹事補佐より、資料提出スケジュールについての確認が行われた。新規調査専門委員会については、技術委員長より設置趣意書提出の正式な依頼を出すこととした。
- 2.5 資料 96-6 を用いて、小豆澤委員長より、LDIA2005 の開催暫定報告が行われた。参加総数は 197 名、発表総数は 131 件であった。投稿料補助は、見込み支出として会議決算に計上することとした。
- 2.6 資料 96-7 を用いて、矢野委員より、11 月に浜松で開催予定のリニアドライブ研究会について、開催プログラムを含めた紹介があった。
- 2.7 資料 96-8 を用いて、北野副委員長より、1 月開催予定の超電導応用電力機器／リニアドライブ合同研究会について、発表募集が始まったとの案内があった。1/23,24 に東京で開催される予定で、申し込み締め切りは 11/10 である。
- 2.8 資料 96-9 を用いて、矢野委員より、前 MDD 委の技術報告をテキストとした産業応用フォーラムを開催するとの案内と、参加の呼びかけがあった。12/9 に東京・船堀で開催される。
- 2.9 資料 96-10 を用いて、北野副委員長より、MAGLEV2006 の紹介があった。12/19 が short abstract の締め切りである。
- 2.10 資料 96-11 を用いて、矢野委員より、MDD 委員会で実施する H18 電気学会全国大会シンポジウムの紹介があった。

3. 審議事項

- 3.1 資料 96-12 を用いて、矢野委員より、MDD 委員会の解散報告書案が朗読され、審議ののち承認された。
- 3.2 資料 96-13 を用いて、矢野委員より、多自由度モータのブレイクスルー技術調査専門委員会（仮称）の設置趣意書案が朗読され、審議された。MDD 委員会でもさらに議論し、技委 ML でも審議したうえで、次回再度審議することとした。
- 3.3 資料 96-14 を用いて、小豆澤委員長より、第 18 回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウムの計画についての説明があった。既に D 部門の承認を受けていること、今年から会期を 2 日間とし、2006 年 5/18-19 に神戸国際会館で行われる予定であることが紹介された。オーガナイザ兼実行委員の分野構成とメンバー構成に関して、議論があり、電気学会関連の分野についての見直しを行うこととした。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 96-15～96-24 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上